

第 127 回沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部会議

議事概要

日 時：令和 3 年 10 月 14 日(木) 15：30～16：30

場 所：県庁 6 階 第 1・2 特別会議室

・会議の概要

<報告事項>

- ◇ 県内における新型コロナウイルス感染症の感染者数や広がり状況、医療提供体制等について、それぞれ所管する本部員から報告があった。

1 参加者

玉城 知事、謝花 副知事、照屋 副知事、島袋 政策調整監、金城 知事公室長、池田 総務部長、宮城 企画部長、普天間 環境企画統括監、金城 県警警備第二課長、大城 保健医療部長、名渡山 子ども生活福祉部長、下地 農林企画統括監、島袋 土木建築部長、嘉数 商工労働部、真鳥 観光政策統括監、大城 会計管理者、佐次田 教育管理統括監、我那覇 病院事業局長、棚原 企業局長、諸見里 医療企画統括監、糸数 保健衛生統括監、高山 政策参与、テレビ会議システム利用：木村宮古保健所長、比嘉 八重山保健所長

2 報告事項

(1) 沖縄県内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について

➤ 総括情報部から最新の新規陽性者及び療養者の状況について報告【資料 1】

- ✓ 10/13 の新規発生は 32 名、合計 49,947 名、入院中 42 名、うち重症 1 名、うち中等症 31 名、入院調整 64 名、宿泊施設療養中 70 名、自宅療養 101 名で療養中患者計 329 名となっている。

(2) 米軍基地内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について

➤ 総括情報部から、米軍基地内における発生状況について報告。【資料 2】

10/13 時点、米軍基地内で 1 名。

(3) 沖縄県内及び全国の感染状況について【資料 3、3-1~3-10】

- 総括情報部から、警戒レベル判断指標の状況や各種分析資料について報告。
 - ✓ 療養者数及び新規感染者数は第 3 段階にある。
 - ✓ 感染経路不明な症例の割合、新規 PCR 検査の陽性率は第 2 段階にある。
 - ✓ 病床占有率、重症者用病床占有率は第 1 段階にある。
 - ✓ 国の判断指標では、入院率がステージⅣ相当、療養者数及び感染経路不明割合がステージⅢ相当となっている。
 - ✓ 病床占有率、重症者用病床占有率、新規感染者数、PCR 検査陽性率については、ステージⅡ or I 相当となっている。
 - ✓ 医療ひっ迫に関する指標で見ると、入院率は改善傾向にあり、重症者数、中等症者数、自宅療養者数及び療養等調整中の数の合計値も減少となっている。
 - ✓ 直近 1 週間の人口 10 万人あたりの新規陽性者数は、9.56 で、全国ワースト 1 位の状況。
 - ✓ 市町村別の人口 10 万人あたりの新規陽性者数で見ると、浦添市が 30.56 と比較的高い値となっている。
 - ✓ 飲食店が推定感染源となっている感染者数については、先週と同じ 9 人となっている。
 - ✓ 移入例は 1 件となっており、現在のところ緊急事態制限解除の影響は見られない。
 - ✓ 沖縄県疫学統計・解析委員会の報告によると、直近の実効再生産数は沖縄本島 0.37、宮古 0.13、八重山 0.95 となっている。
 - ✓ また、年代別では、未成年の感染者が全体の 3 割近くを占めている。
 - ✓ 今後の見通しとして、感染者は減少傾向にあるものの、緊急事態宣言が解除されてから 2 週間が経過することから、活動再開の影響が見られる可能性があるとの報告があった。

(4) 宿泊施設の運用状況について【資料4】

- 総括情報部から、10/13 時点の宿泊施設の運用状況について報告。
 - ✓ 那覇市は3カ所が稼働しており、合計43人が療養中である。
※1施設について10/14にからの稼働。
 - ✓ 中部では1カ所が稼働しており、16人が療養中である。
 - ✓ 他の地域については、北部で1人、宮古で1人、八重山で9人が療養中となっている。

(5) 沖縄県人口変動状況について【資料5】

- 総括情報部から、KDDI Location Analyzer による分析結果を報告。
 - ✓ 制限解除の影響により、繁華街エリア・商業エリアでは大幅に人流が増加している。
 - ✓ 空港エリアでは、人流がやや増加している。

(6) クラスターの発生状況について

- 総括情報部から、クラスターの発生状況について報告。
 - ✓ 学習塾、事業所でクラスターが発生している。

(7) 宮古・八重山地域の感染状況について【資料6】

- 宮古地方本部から宮古地域の感染状況等について報告。
 - ✓ 10/6以降、新規感染者は発生していない。
 - ✓ 管内の感染者、療養者がほぼ0人となっており、今後は早期封じ込めの取組、第6波に対する備えに取り組んでいく。

- 八重山地方本部から八重山地域の感染状況等について報告。
 - ✓ 八重山地区では 10/10～10/13 の期間に 7 名の感染者が発生している。
 - ✓ 感染者の年代については 40～50 代が多い。
 - ✓ 感染経路としては、会食による感染例があり、緊急事態宣言解除が影響したものである。
 - ✓ 一部に緩みが見られることから、改めての注意喚起、感染予防対策の啓発を行う予定である。

(8) PCR 検査事業の状況について【資料 7】

- 総括情報部から、検査事業実績について報告。
 - ✓ エssenシャルワーカー定期 PCR 検査の実績について、10/4～10/8 は障害者施設関係者 352 人が受検し、保育施設関係者では 3,730 人が受検したが陽性者は確認されなかった。なお、介護施設関係者で受検した者はいなかった。
 - ✓ 安価な PCR 検査補助の実績について、10/1～10/7 は 4,030 人が受検した結果、陽性者 29 人、陽性率 0.72%であった。
 - ✓ 飲食店検査の実績について、10/2～10/8 は 174 人が受検した結果、陽性者 3 人、陽性率 1.72%であった。
 - ✓ モニタリング検査の実績について、9/27～10/3 は、6,538 人が受検した結果、陽性者は 2 人であった(0.03%)。
 - ✓ 学校 PCR 検査の実績については 1,064 人(25 校)が受検した結果、陽性者 5 人、陽性率 0.47%であった。

(9) ワクチン対策チーム進捗状況について【資料 8】

- 総括情報部から、住民向け進捗状況等について報告。
 - ✓ 10/12 時点で、1 回目のワクチン接種が完了した人は 967,206 人となっており、

接種率（県全体）は 64.1%となっている。

- ✓ 10/12 時点で、2 回目のワクチン接種が完了した人は、861,687 人となっており、接種率（県全体は、58.0%となっている。
 - ✓ 10 月末までの全人口の 70%に対する 1 回目の接種完了については、達成が厳しい状況となっている。
 - ✓ 接種状況について地域別で見ると、南部、中部で接種率が低い地域がある。
 - ✓ また、年代別で見ると、19 歳から 39 歳までの 1 回目接種率が 55%程度に留まっている。
 - ✓ 接種率 70%（1 回目）の達成に向けて、ワクチンに関する正しい知識の啓発、知事から市長会への協力依頼、接種率の低い自治体へのヒアリング、SNS 等を活用した若者世代への呼びかけ、広域ワクチン接種センターにおける若者世代への更なるワクチン接種の勧奨等を行う予定である。
- 総括情報部から、宮古島市における新型コロナワクチンの患者発生予防効果の推定（暫定版）について報告。
- ✓ 宮古島市は、ワクチン接種が順調に進んでおり、また、疫学調査もしっかりと行われている地域であることから分析を行った。
 - ✓ 分析の結果、ワクチンの新型コロナウイルス感染症の患者発生予防効果は、64 歳未満で 89.5%、65 歳以上でも 74.5%と高い効果が確認された。

（10）空港 PCR 検査プロジェクト・TACO・RICCA の運用状況等について【資料 9】

- 文化観光スポーツ部から、空港 PCR 検査プロジェクト・TACO・RICCA の状況について報告。
- ✓ 空港 PCR 検査プロジェクトについて、10/4 の週の受検者は 1,369 名で、その内陽性は 0 名であった。
 - ✓ 那覇空港抗原検査について、10/4 の週の受検者は 425 名で、その内 1 名が陽

性であった。

- ✓ TACOについて、10/4の週のサーモグラフィー通過者は124,991人で、その内発熱者は0人であった。
- ✓ RICCAについて、10/8時点の登録者数は116,224人となっている。
- 文化観光スポーツ部から、「旅行前の出発地におけるPCR等検査の受検状況に関する調査」について報告。
 - ✓ 9/17～9/22の期間、旅行前出発地におけるPCR等検査の受検状況についてWebアンケート調査を実施した。※アンケート回収数：1,550件
 - ✓ 調査の結果、沖縄県が来訪前の検査受検推奨していることを認知しているのは全体の約7割であった。
 - ✓ 検査の受検率は51.8%となっており、前回調査から4.5ポイント増加している。
 - ✓ 受検率が上昇した要因としては、国が実施する搭乗前モニタリング検査（無料）の影響が大きいと推測される。
 - ✓ 国のモニタリング検査の効果が大きいことから、今後は国に対し①出発地において陽性者を発見できる検査体制の構築、②上記①の体制が構築されるまでの間の搭乗前モニタリング検査の継続、③旅行前の検査で陽性となり、航空機に搭乗できなくなった場合のキャンセル料の負担を求めていく。
 - ✓ また、出発地検査推奨の認知度向上に向けたターゲット別に効果的な手段を活用した周知広報を実施するほか、受検率の向上に向けたエリア別・ターゲット別の効果的な訴求方法についても検討する。

(11) 各部局の取組状況等について【資料10】

- 時間の都合上、説明を割愛。

(12) その他報告事項について

- 病院事業局から、県立病院の状況等について報告。
 - ✓ 10/14 時点の県立病院の入院患者数は 10 人となっており、先週に比べて 9 人の減少となっている。
 - ✓ 北部病院では自宅療養者の電話診療を行っているが、感染者の減少により、電話対応の件数も減ってきているとのこと。
 - ✓ 中部病院からは、医療従事者に対する 3 回目の予防接種について予防があった。
 - ✓ 南部医療センター・子ども医療センターでは 10/12 以降、入院者数は 0 人となったが、患者の発生に備え、増床に対応できる体制を整えている。

- 文化観光スポーツ部から、プロスポーツイベントにおけるワクチン接種証明、陰性証明の活用にかかる実証について報告。
 - ✓ 9/30 に沖縄市の沖縄アリーナで実施された琉球ゴールデンキングスの試合において、ワクチン接種証明、陰性証明の確認の試行を行った。
 - ✓ 周知期間の関係上、入場者のうち約 800 名について試行を実施した。
 - ✓ 試行の結果については分析中であるが、ゾーニング等の課題が確認されている。
 - ✓ 得られた結果を次のイベントで生かせるよう、検討を行う予定である。

- 各保健所の状況が気になるため、次回はほかの保健所長にも出席して頂きたいと提案があった。

- 企画部及び総括情報部から、第 49 回衆議院議員総選挙にかかる感染予防対策等について報告。
 - ✓ 10/11 に開催された立候補予定者及び届出予定政党への説明会に際し、基本的な感染予防対策について説明を行った。

- ✓ また、投票所におけるマスク着用、咳エチケット、手洗いの徹底等について市町村の選挙管理委員会に周知を行ったところである。

(報告事項(12)に関する発言等)

- ✓ 「旅行前の出発地におけるPCR等検査の受検状況に関する調査」の結果の公表について質問があった。
→文化観光スポーツ部から、知事記者会見等を通じて発表する予定であることを説明。
- ✓ ワクチン接種促進の具体的な取組状況について質問があった。
→総括情報部から、ワクチン接種の正しい知識を伝えるリーフレット(2種類)を作成し、県内の公立・私立の高校、中学校へ配布を行っていることを説明。また、10/15より市町村に対するヒアリングを実施する予定であることを説明。

3 その他

(1) 本庁舎停電時の総括情報部の対応について

- 総括情報部から、10/16に予定されている本庁舎の電気設備の点検等に伴う停電時の対応について説明。
 - ✓ 10/16(土)は、全面停電が予定されていることから、議会棟4階に臨時執務室を設置し、医療コーディネーター、患者管理、自宅療養コールセンター、在宅患者対応、宿泊療養、移送業務を継続実施する。
※その他の業務については休止

4 閉会